

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	浸水防止塀設置助成事業							担当部	都市建設部			
	会計区分	一般会計				事業類型	一般		担当課	河川課			
	事業期間	平成18年度			～	平成30年度以降			担当係	河川係			
	総合計画 分野別計 画	主目的	5 都市基盤		26 河川・水路		3 水(河川)に対する意識を高める						
		副目的											
	予算区分	款	8	項	3	目	3	大	3	中	2		
	根拠法令・個別計画												
	実施・運営 方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="checkbox"/>	一部又は全部委託			
		<input type="checkbox"/>	指定管理・外郭団体			名称:							
		<input type="checkbox"/>	NPO・その他			名称:							
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	過去に浸水による家屋等の被害に見舞われた方、また、今後も浸水による被害が発生するおそれのある地域に家屋等がある方に対して、自らが浸水による家屋等の被害を防止するための防止塀設置に必要な工事費に対して助成を行う。												
内容 (手段)	<p>浸水を防ぐため宅地内に塀等を新設又は嵩上げする工事に対し、限度額の範囲で補助金を交付する。 主な対象区域は、過去に浸水被害に見舞われた地域か、今後浸水被害に見舞われそうな地域である。</p> <p>【助成実績】 補助金交付件数 5件(交付額:1,287千円) 申請者の種類 個人:4件 法人:1件</p> <p>助成内容 1m当たりの工事費の2分の1の額で限度額1m当たり8,500円 最高限度額 個人 500,000円 事業所等 1,000,000円</p>												
受益者負担	無	内容											

			単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	17	1,287
正職員			従事者数	人	0.05	0.20	0.10
			人件費	千円	268	1,073	536
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
費用合計			千円	285	2,360	2,036	
対前年比		%		828.0			
財源	一般財源		千円	285	2,360	2,036	
	国・県支出金		千円	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	

業 績	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23	
		浸水防止塀設置 申請件数	件	目標		5	4	4
				実績		1	5	
				目標				
				実績				
				目標				
	実績							
	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
		助成金交付総件数	件	目標		—	—	—
				実績		8	13	
			目標					
			実績					

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	昨年7月の豪雨をはじめ過去5年間に発生した集中豪雨で、家屋に浸水被害を受けた方へ直接訪問し、浸水防止塀設置助成制度等のPRを実施したことにより、申請が目標を超える状況となった。				
	事業を廃止・休止したときの影響	浸水対策として河川水路等の改修を行政が進めることは当然であるが、市民みずからが行える浸水対策として浸水防止塀等の設置は早期に実施できる手段として有効であり、本事業を廃止することは、自助の行動の低下を招くこととなる。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	直接訪宅によるPRIにより、当該事業を特に必要としている方々に周知されたため、平成22年度から制度への問い合わせ件数、申請件数ともに平成21年度以前より増加している。しかしながら、今後はより住民ニーズ(限度額等)に合った制度にするため、改善が必要と判断した。				
今後の事業の方向性(今後の取組み・改善計画等)	昨年訪宅した際、実施したアンケートの内容と他市の状況等を参考に改善を行い、住民の要望に合った、より利用しやすい制度を目指す。					

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	評価は一次評価のとおりBとするが、現在の制度でニーズがなければ、廃止に向けて期限設定をするのも、選択肢の一つである。				